

「言葉の使い方を見直すために、話し合おう」

～相手と自分の意見とを比べて、自分の考えをまとめる～

話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることに課題が見られました。そこで、本アイデア例では、相手の意見を踏まえて、自分の考えをまとめることについての指導事例を紹介します。なお、本アイデア例は、第5学年以上を対象としています。

課題の見られた問題の概要と結果

B 1 言葉の使い方を見直すために、話し合う

B 1三 正答率 **33.9%** これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、□ (自分の考え) を書く

学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕A エ
〔第5学年及び第6学年〕B ウ

授業アイデア例

本アイデア例では、B 1設問三に関する指導事例を紹介します。以下は、話し合う学習の中でも、相手の意見を踏まえて、自分の考えをまとめる過程に着目した活動の例です。

学習活動 1 自分の意見と比べながら、友達の意見を整理する

ステップ1【考えをもつ】「生活の中で使っている言葉はみだれているか」について、自分の考えをもち、話し合いに参加する。

- ・立場：みだれている
- ・理由：「あけおめ」のように、省略した言葉を使う人が多い。



私は、省略した言葉を使う人が多いから、何となく言葉はみだれていると考えたけれど、みんなはどのように考えたのかな。

ステップ2【整理する】 B 1の【話し合いの様子の一部】を聞いて、友達の意見を整理し、自分の考えと比べる。
【比 べ る】

- 小池さん
- ・立場：みだれていない
- ・理由：時代によって言葉の使われ方が変わる。
(例) 全然いい

- 田中さん
- ・立場：みだれている
- ・理由：本来の意味とはことなる使われ方をしている言葉がある。
(役不足)

比べて考えたことを整理する際には、児童の実態に応じて、それぞれの発言をメモとして書き残すことも考えられます。

ポイント

私と立場は同じだけれど、田中さんの理由は、資料に基づいているものなのだな。

小池さんは、私と立場が逆だな。

そうか。省略した言葉を使うと言葉がみだれていると感じたのは、相手や場に合わないことや、意味が分かりにくくなることがあるからなのだな。

- 北川さん
- ・立場：みだれている
- ・理由：省略した言葉
→相手や場に合わない
意味が分かりにくくなる
(例) ことよろ

学習活動 2 友達の意見を踏まえて、自分の意見を見直す

ステップ3【考え直す】 学習活動1のステップ2で整理した友達の意見を踏まえて、「生活の中で使っている言葉はみだれているか」について考え直す。

北川さんの言っていた理由を、私も取り入れたいな。



- ・立場：みだれている
- ・理由：「あけおめ」や「ことよろ」のように省略した言葉を使うと、相手や場によって分かりにくくなることもある。

ステップ4【まとめる】 「これから言葉をどのように使っていきたいか」について、メモを基に自分の考えを簡潔にまとめ、発表し合う。



北川さんも話していましたが、「あけおめ」や「ことよろ」のように言葉を省略して話すと、相手によって意味が分かりにくくなるがあると思います。だから、私は、相手や場に合わせて言葉を使っていきたいです。

本授業アイデア例

活用のポイント！

- 自分の考えをまとめる際には、相手の意見と自分の意見との共通点や相違点を整理することなどが大切です。相手の意見を聞いて考えたことや、共感したり納得したりした内容や事例を取り上げるなどして、自分の考えを筋道を立ててまとめることができるように指導を工夫することが必要です。